

地域農業振興計画

(くらしの活動基本方針)

平成28年～30年



農業者の所得増大と農業生産の拡大、地域の活性化を目指し、
多様な取り組みを地域一丸となって実践しよう



しおざわ農業協同組合

現状と課題

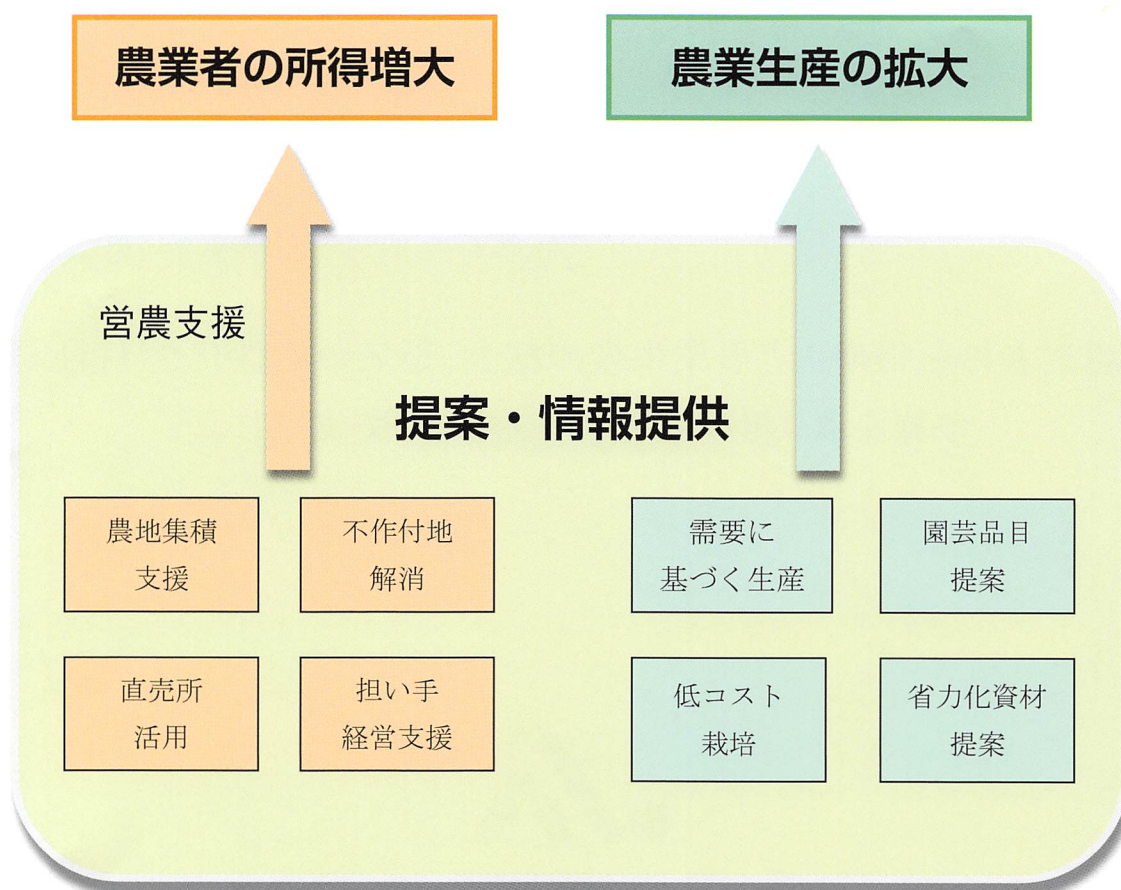
農業を取り巻く環境が変化の度合いを増しています。少子高齢化による農業者の減少、後継者不足などの影響に加え、ここ数年はJ Aグループ自己改革やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の大筋合意、農協法の改正など外部からの影響も強く懸念されています。

このような状況変化に左右されず農業経営の原点である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現を果たすためには、認定農業者、生産法人、兼業農家、定年帰農、新規就農といった多様な担い手の総力を結集し、地域全体で農業を支えていく取り組みが必要不可欠です。

今後の方向性

営農提案と情報提供により多様な担い手への支援を行い、「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を目指します。

<取り組みイメージ>



【営農支援】

- ・金融部門や農業機械部門など、幅広い分野が一体となって情報提供を行い、きめ細かい営農相談体制を整備します。
- ・行政・関係団体と連携し、新たな園芸振興プロジェクトを提案します。
- ・「営農基礎講座」や「支所別園芸講習会」を開催し、新たに農業を始める方の営農基礎知識の向上を支援します。

○営農知識向上のための講座開催

営農基礎講座

	内 容	場 所
園芸 (全7回)	野菜全般の基礎 各種野菜の栽培管理 等	本所 (1箇所)
稲作 (全7回)	水稻の時期別管理方法 作柄分析、農業情勢 等	本所 (1箇所)

支所別園芸講習会

	内 容	場 所
3月	作物の基礎、土づくり、植え付けについて	各支所 (5箇所)
5月	夏野菜の植え付け、栽培管理	各支所 (5箇所)
7月	夏野菜の収穫、秋野菜の植え付け、栽培管理	各支所 (5箇所)



営農基礎講座



支所別園芸講習会

【米穀】

○需要に基づく販売を軸とした米穀生産の確立

最高の品質・食味を兼ね備えた「南魚沼産コシヒカリ」のブランドの維持を図るため、区分集荷・区分管理を徹底し、品質食味の高位平準化対策をすすめるとともに、実需者ニーズを的確に把握し、減農薬栽培や契約栽培米、輸出用米など、新たな需要に応じた農業生産を提案します。

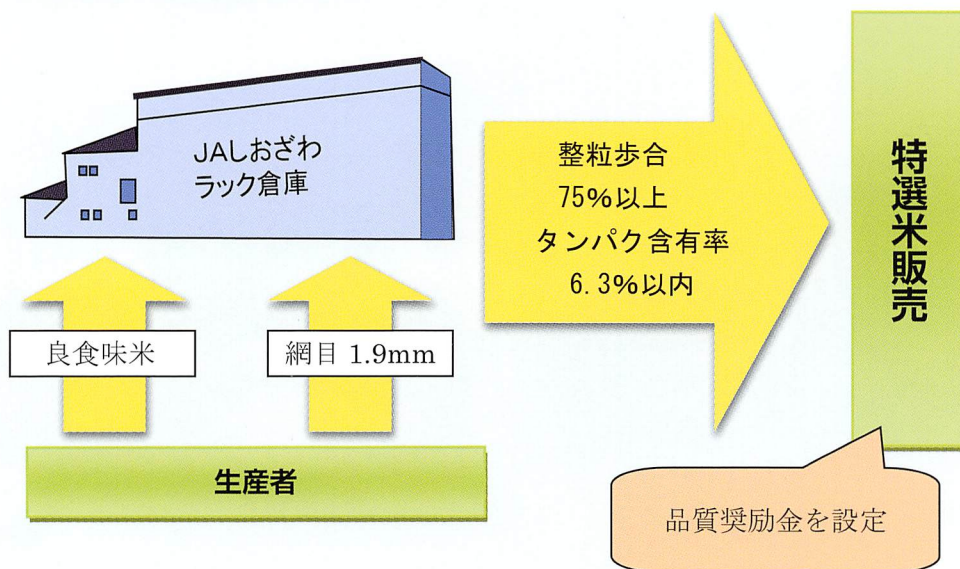
米穀集荷計画（俵）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
慣行栽培米	58,400	64,530
無農薬米	350	350
8割減農薬米	1,980	2,670
5割減農薬米	1,670	3,500
天日乾燥米	290	300
その他うるち米	730	1,270
酒米	700	750
もち米	80	150
加工用米	2,950	2,500
米粉用米	600	580
輸出用米	200	400
合計	67,850	77,000

米穀販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
慣行栽培米	1,051,720	1,195,090
無農薬米	12,310	12,600
8割減農薬米	46,530	64,000
5割減農薬米	35,080	75,510
天日乾燥米	12,240	12,670
その他うるち米	7,630	13,970
酒米	9,400	10,070
もち米	880	3,120
加工用米	33,840	28,740
米粉用米	2,370	2,290
輸出用米	2,220	4,810
合計	1,214,220	1,422,870

区分集荷、区分販売について



○農地集積と作期分散による経費低減

- ・農地中間管理事業を活用し、規模拡大意欲を持つ生産者がスムーズに集積できるよう関係機関と連携しすすめていきます。

農地集積推進計画

	現状 (H27年度)	目標 (H30年度)
地域全体面積	2,400ha	2,400ha
担い手経営面積	777ha	912ha
集積率	32.4%	38.0%

農地中間管理事業 推進計画

	現状 (H27年度)	目標 (H30年度)
中間管理機構活用面積	120ha	200ha

- ・低コスト栽培技術（直播）を活用しトータルコストの低減を確保します。

	現状 (H27年度)	目標 (H30年度)
鉄コーティング直播栽培	21.7ha	30.0ha



- ・早生品種、晩生品種を取り入れ、農地集積を行った生産者の作付や作期の分散を進め、規模拡大によるコスト低減の実効性を確保します。

作期分散品種の作付推進計画

	現状 (H27年度)	目標 (H30年度)
その他うるち米	10.7ha	17.0ha
酒米（一本杓、越淡麗）	10.8ha	12.0ha
こがねもち	6.9ha	7.9ha

<参考> 27年産米あきだわら（契約栽培米）

移植期：5月25日 出穂期：8月18日 成熟期：10月15日

施肥体系：基肥N4.8 P4.8 K4.0 穂肥N4.0 P0 K4.0

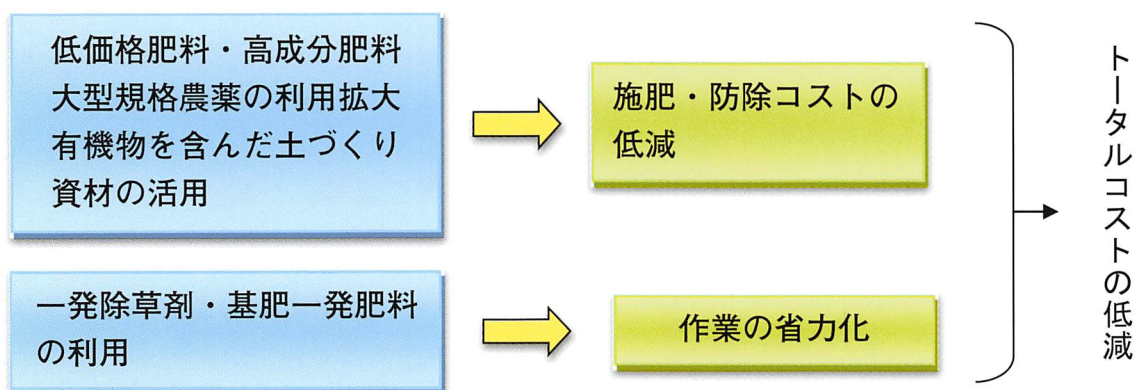
地区	m ² 穂数	1穂籾数	m ² 籾数	登熟歩合	千粒重	整玄米重
樺野沢	514本	99粒	51,230粒	73.2%	21.9g	820kg

10a 当たり収穫量：711kg（11.8俵）



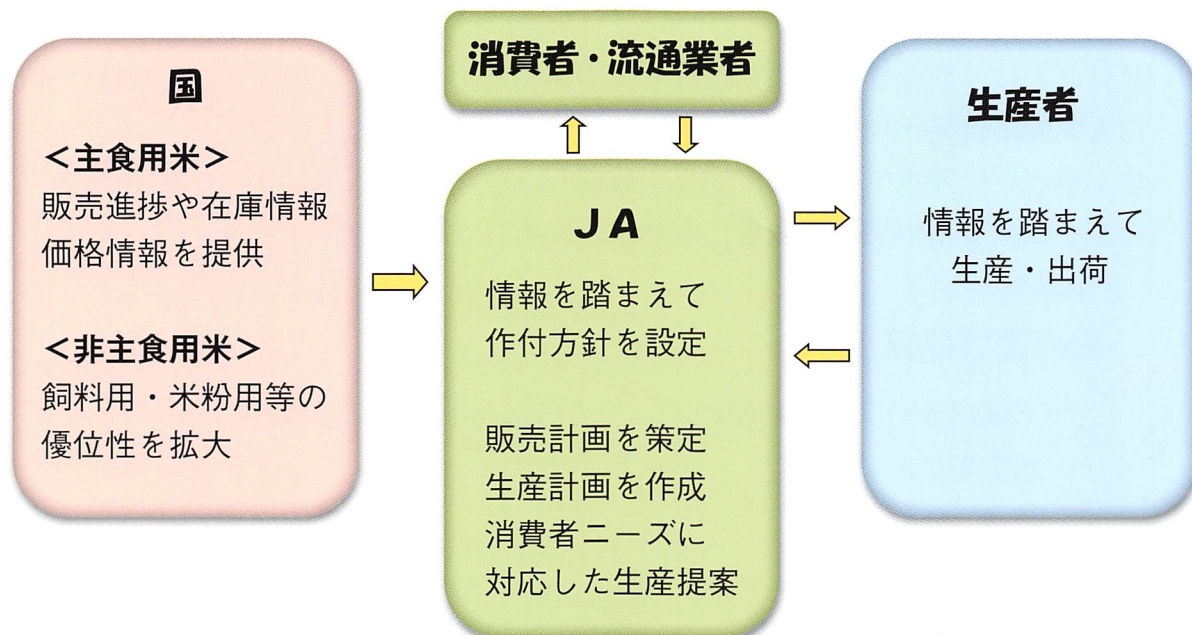
○生産資材の見直しによるトータルコストの低減

- ・低価格肥料や高成分肥料、大型規格農薬等による生産コストの低減とともに一発剤や土づくり資材の供給を通じ省力化に向けた提案を行います。
- ・定期的な市場価格調査に基づき、同等品に対する受入条件の見直しや、全農や商系メーカーを含めた交渉を行うことにより、信頼される生産資材価格を実現します。



○需給構造の変化を踏まえた生産・供給体制

30年産米で予定されている生産数量目標の配分廃止等の大きな環境変化に向け、生産現場が混乱することがないように流通業者をはじめ関係機関と連携しすすめます。



○不作付地の解消

需給調整政策の大きな変革に向け、水田をフル活用し米政策が達成できる取り組みを継続し、多くの面積で米の作付ができるようすすめます。

	現状 (H27年度)	目標 (H30年度)
自己保全管理	107ha	105ha
調整水田	141ha	100ha
解消不作付地		43ha

【その他戦略作物】

○戦略作物の収量安定化

そば・大豆の地域全体での収量安定化を目指し、地産地消を推進します。

戦略作物生産計画 (t)

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
そば	23.0	25.0
大豆	6.8	9.0

戦略作物販売計画 (千円)

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
そば	460	500
大豆	1,910	2,700

【園芸】

○園芸生産拡大に向けた体制づくり

農産物直売や地産地消を軸とし、園芸生産拡大を図るため、稲作農家への園芸導入の推進や新規取り組み者に向けた広報を行うための体制を構築します。

- ・品目ごとに「収支プラン」を作成し、生産定着のサポートを行うとともに、作期拡大・安定供給が図られるよう市場・地域との連携を強化します。
- ・加工業者との連携で多様な販売先を確保し、生産者所得の向上につなげます。
- ・育苗ハウスを用いて試験栽培に取り組み、新たな生産品目の提案を行います。

重点園芸品目

- ・アスパラガス、やわ肌ねぎ、かぐらなんばん、ズッキーニ
- ・加工用こんにゃく芋

☆アスパラガス

生産計画（t）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
アスパラガス	1.7	3.6

販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
アスパラガス	2,400	3,600

10aあたり収支モデル（4年目以降）

目標収量 (kg)	目標単価 (円/kg)	粗収入 (万円)	流通経費 (万円)	栽培経費 (万円)	所得 (万円)	備考
800	1,000	80.0	9.0	20.0	51.0	3年目から本格収穫 苗1,600本 大面積の場合、選別機が必要



アスパラガス生産圃場

☆やわ肌ねぎ

生産計画（t）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
やわ肌ねぎ	4.9	7.0

販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
やわ肌ねぎ	1,550	1,750

10aあたり収支モデル

目標収量 (kg)	目標単価 (円/kg)	粗収入 (万円)	流通経費 (万円)	栽培経費 (万円)	所得 (万円)	備考
3,000	250	75.0	20.0	20.0	35.0	チェーンポット70枚 大面積の場合皮むき機が必要



ねぎ移植（チェーンポット苗）



定植後のねぎ圃場

☆かぐらなんばん

生産計画（t）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
かぐらなんばん	3.3	5.0

販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
かぐらなんばん	1,580	1,890

10aあたり収支モデル

目標収量 (kg)	目標単価 (円/kg)	粗収入 (万円)	流通経費 (万円)	栽培経費 (万円)	所得 (万円)	備考
1,500	380	57.0	12.5	20.0	37.0	苗1,100本

☆ズッキーニ

生産計画（t）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
ズッキーニ	17.6	19.5

販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
ズッキーニ	5,300	5,650

10aあたり収支モデル

目標収量 (kg)	目標単価 (円/kg)	粗収入 (万円)	流通経費 (万円)	栽培経費 (万円)	所得 (万円)	備考
2,000	280	56.0	14.0	20.0	22.0	苗600本



ズッキーニ生産圃場

☆加工用こんにゃく芋

生産計画（t）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
こんにゃく芋	0.7	3.0

販売計画（千円）

作物名	現状	目標
	H27年度	H30年度
こんにゃく芋	135	630

10aあたり収支モデル

目標収量 (kg)	目標単価 (円/kg)	粗収入 (万円)	流通経費 (万円)	栽培経費 (万円)	所得 (万円)	備考
2,000	210	42.0	0.0	20.0	22.0	種芋1,900個

※中山間地域の鳥獣害対策にも有効です。
 ※連作が出来ないため、輪作が必要です。

- ・道の駅直売所「四季味わい館」、Aコープ「真鮮買」を活用し、生産者の掘り起こしと出荷者向け品質指導等を行い、園芸品目作付の活性化をすすめます。

直売所 管理計画（四季味わい館、真鮮買）

項目	現状（H27年度）	目標（H30年度）
出荷者数	164名	200名
販売金額	90,000千円	94,200千円

～直売所と集荷所の使い分けイメージ～

出荷する前にそれぞれの特徴を知って使い分けましょう。

直売所

- ・出荷規格は独自でそれぞれ違う大きさ、中身
- ・値段は自分で決める売れる値段、欲しい値段
- ・売れ残りは引き取り

集荷所

- ・出荷規格を合わせるある程度の選別が必要
- ・値段は市場により決定時期、数量により変動
- ・売れ残りは出ない



新鮮な地場産野菜



南魚沼産コシヒカリ

【畜産】

- ・優良繁殖メス牛導入により新潟和牛の安定生産をすすめます。
- ・乳牛の増頭を図り更なる乳量増産に努めます。

畜産品目生産計画

作物名	現状		目標	
	H27年度	H30年度	H27年度	H30年度
牛乳	145 t	175 t		
素牛	9 頭	10 頭		

【きのこ】

- ・大口径ビンの導入、低燃費栽培など資材・栽培体系を見直すことにより、単位あたり収量の向上を図ります。
- ・試食宣伝活動を強化し、加工品販売の実績につなげます。
- ・地元業者など多様な取引先を通じた販売強化に努めます。

きのこ生産計画（t）

作物名	現状		目標	
	H27年度	H30年度	H27年度	H30年度
えのきだけ	1,700.0	2,000.0		
ぶなしめじ他	148.0	155.0		

きのこ販売計画（千円）

作物名	現状		目標	
	H27年度	H30年度	H27年度	H30年度
えのきだけ	390,000	470,000		
ぶなしめじ他	53,300	55,800		



えのきだけ栽培棚



えのきだけ包装工程

年次別 事業取扱高の計画

[米穀] 生産者に応じて作付を提案し、所得の最大化を目指します。

米穀集荷

(単位：俵)

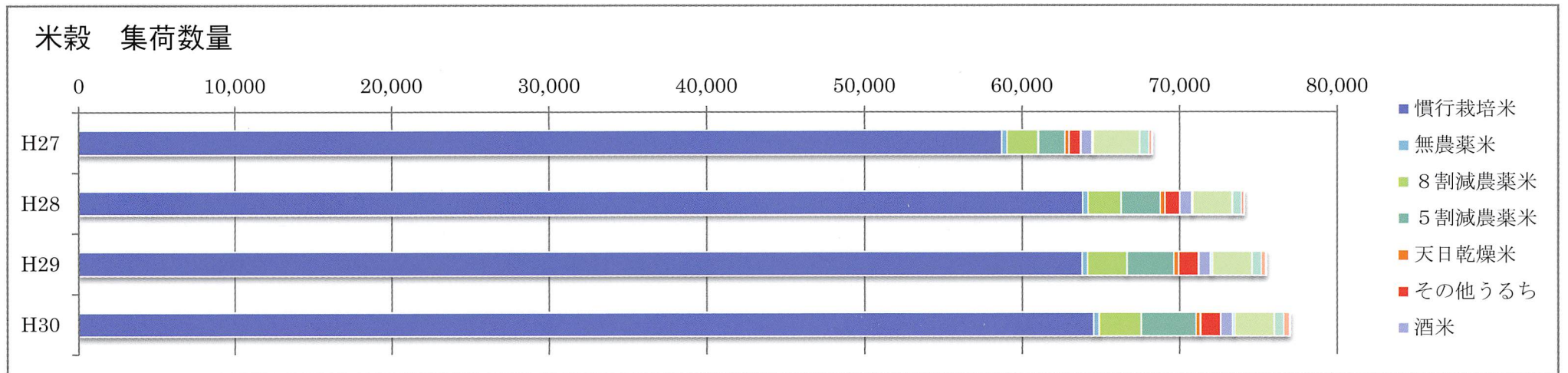
作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
慣行栽培米	58,400	63,830	63,800	64,530
無農薬米	350	350	350	350
8割減農薬米	1,980	2,100	2,500	2,670
5割減農薬米	1,670	2,500	3,000	3,500
天日乾燥米	290	300	300	300
その他うるち米	730	930	1,270	1,270
酒米	700	750	750	750
もち米	80	83	150	150
加工用米	2,950	2,500	2,500	2,500
米粉用米	600	580	580	580
輸出用米	200	200	300	400
合計	67,850	74,133	75,500	77,000

米穀販売

(単位：千円)

作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
慣行栽培米	1,051,720	1,182,130	1,181,510	1,195,090
無農薬米	12,310	12,600	12,600	12,600
8割減農薬米	46,530	50,400	60,000	64,000
5割減農薬米	35,080	53,930	64,720	75,510
天日乾燥米	12,240	12,670	12,670	12,670
その他うるち米	7,630	10,340	13,970	13,970
酒米	9,400	10,070	10,070	10,070
もち米	880	930	3,120	3,120
加工用米	33,840	28,740	28,740	28,740
米粉用米	2,370	2,290	2,290	2,290
輸出用米	2,220	2,410	3,610	4,810
合計	1,214,220	1,366,510	1,393,300	1,422,870

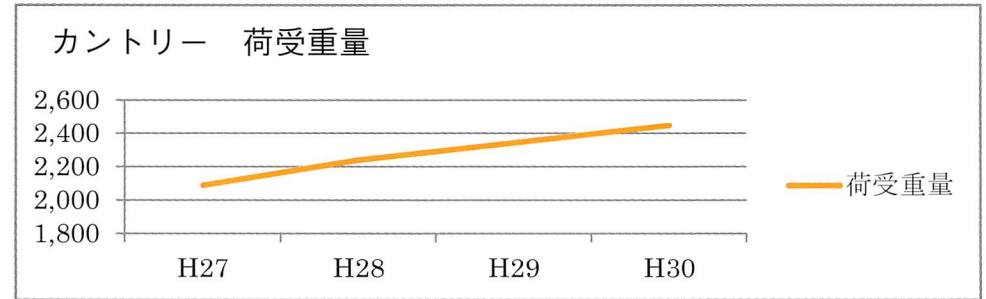
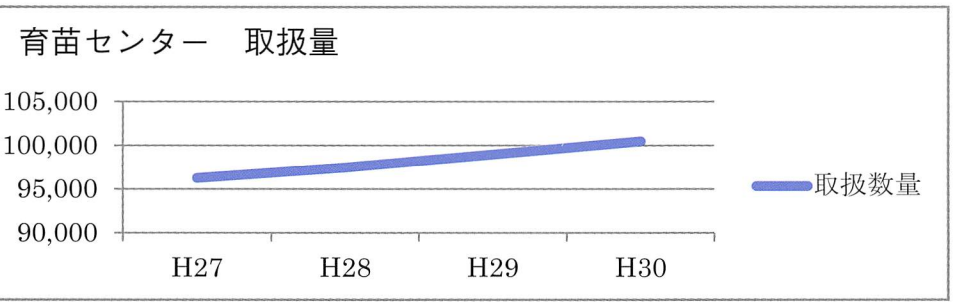
米穀 集荷数量



[利用事業]

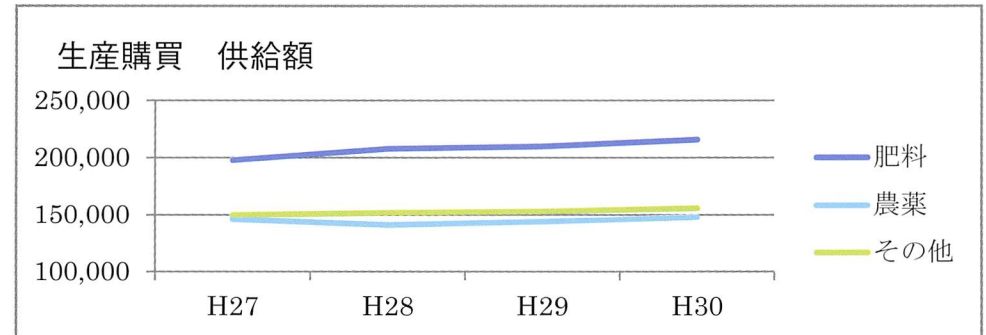
育苗センター	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
取扱数量	96,300枚	97,500枚	99,000枚	100,500枚
利用料金	76,070千円	77,030千円	78,080千円	79,190千円

カントリーエレベーター	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
荷受重量	2,089 t	2,240 t	2,344 t	2,448 t
利用率	60.6%	65.0%	68.0%	71.0%
利用料金	43,860千円	47,040千円	49,220千円	51,410千円



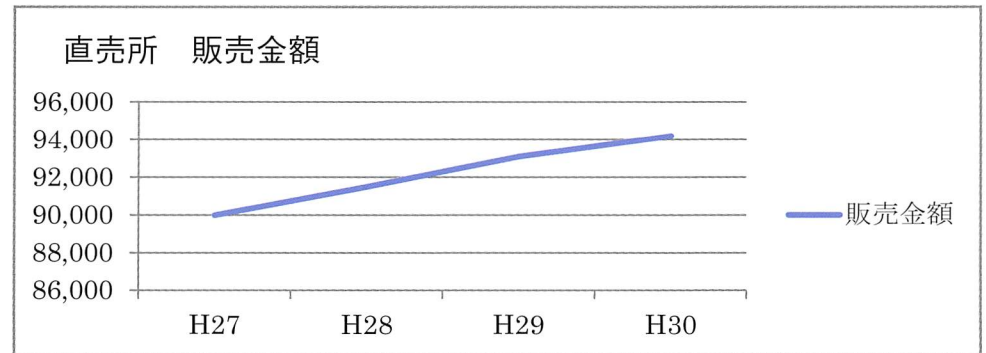
[生産購買]

項目	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
肥料	198,000千円	208,000千円	210,000千円	216,000千円
農薬	146,000千円	141,000千円	144,000千円	148,000千円
その他	150,000千円	152,000千円	153,000千円	156,000千円
合計	494,000千円	501,000千円	507,000千円	520,000千円



[直売所]

項目	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
出荷者数	164名	184名	193名	200名
販売金額	90,000千円	91,500千円	93,100千円	94,200千円



[園芸]

園芸生産

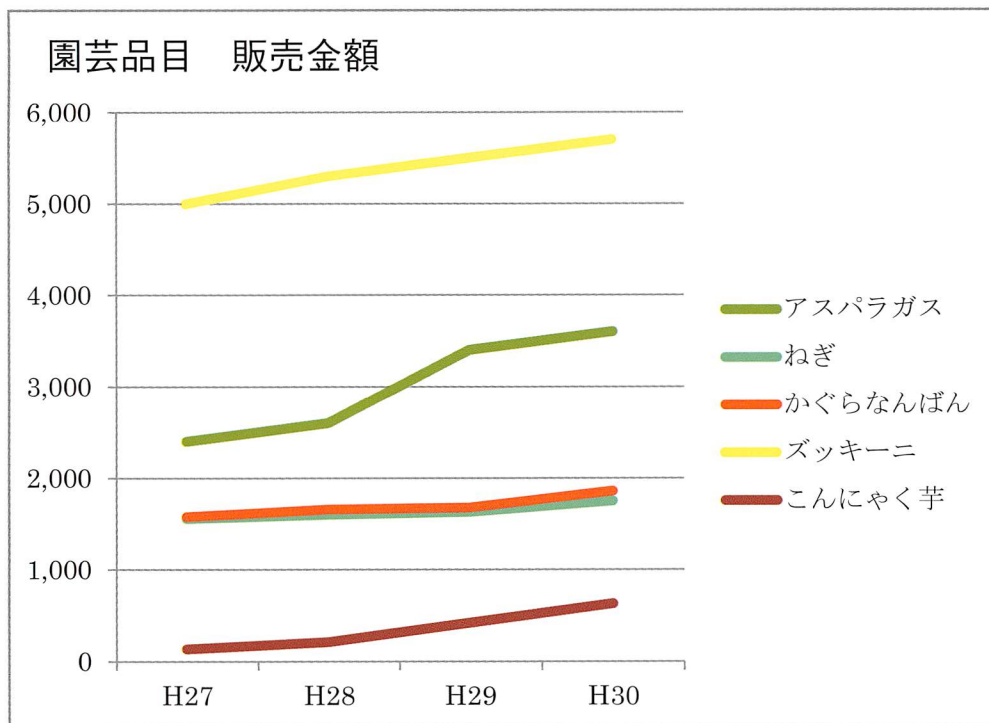
(単位：t)

作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
アスパラガス	1.7	2.6	3.4	3.6
ねぎ	4.9	5.7	6.5	7.0
かぐらなんばん	3.3	3.9	4.4	5.0
ズッキーニ	17.6	18.0	18.5	19.5
こんにゃく芋	0.7	1.0	2.0	3.0

園芸販売

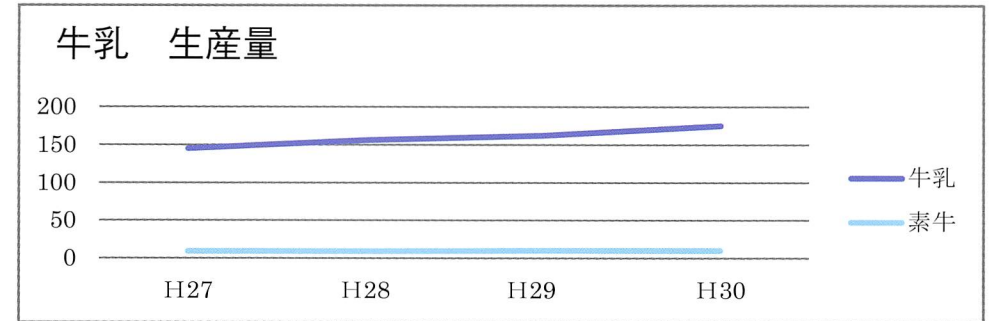
(単位：千円)

作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
アスパラガス	2,400	2,600	3,400	3,600
ねぎ	1,550	1,600	1,630	1,750
かぐらなんばん	1,580	1,660	1,700	1,890
ズッキーニ	5,300	5,400	5,550	5,650
こんにゃく芋	135	210	420	630
その他	28,000	29,000	30,000	31,000
合計	38,965	40,470	42,700	44,480



[畜産]

畜産品名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
牛 乳	145 t	156 t	162 t	175 t
素 牛	9 頭	9 頭	10 頭	10 頭



[きのこ]

きのこ生産

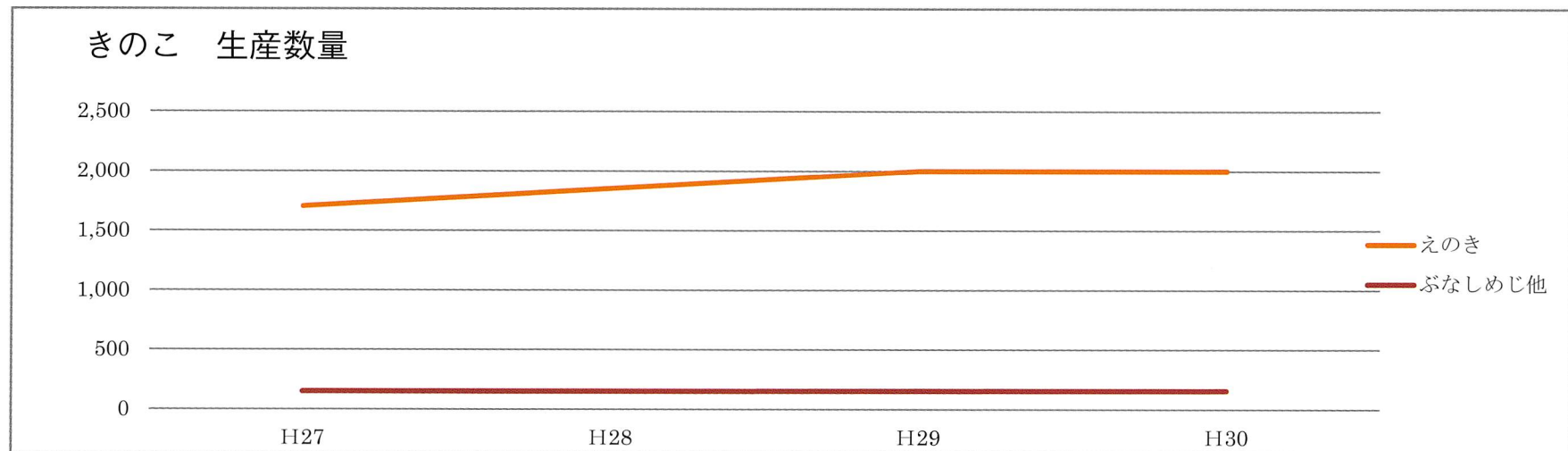
(単位：t)

作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
え の き	1,700	1,850	2,000	2,000
ぶなしめじ他	148	150	153	155

きのこ販売

(単位：千円)

作物名	現状	1年次	2年次	目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
え の き	390,000	425,000	460,000	470,000
ぶなしめじ他	53,300	54,000	55,000	55,800



くらしの活動基本方針

現状と課題

地域内でも少子高齢化や外食化が進み、当JA管内でも生活スタイルや地域の在り方が変わりつつあります。特に食生活や「農」への理解は若年層になるにつれ薄くなる傾向にあり、地域全体で「食農教育」を強めていく必要があります。

また、生活スタイルの多様化により、求められる活動も多様化し始めています。豊かで暮らしやすい地域環境を目指し、皆で集まり行動に結びつける活動を積極的に行わなければなりません。

JAは「地域の活性化」に向けて「食・農・健康・助け合い」を軸に生活活動を実践します。

【重点活動】

○食農教育の推進

安全・安心な農業生産を基本に、次世代を対象とした農業教室、食育教室を開催することにより、地域農業や食に対する関心を高めていただけるような活動を展開します。

- ・ 地元小学校の学校田への出前授業や子供料理教室に加え、年間を通して農業の現状や課題、食について学べる場として「親子で学べるJAアグリスクール」を提案し、継続的な活動へつなげます。
- ・ 料理教室等の各種教室に合わせて食や農に関する勉強会を行い、記憶に残る学習を目指します。
- ・ 郷土食レシピ本の発行や郷土食の料理教室を通じ、若い世代への地域食文化の継承に力を入れていきます。



総合学習 キッズプロジェクト



Aコープで食の学習会

○生活文化活動

組合員や地域住民のニーズに応じた各種サークル・文化活動を提案することにより、地域コミュニティの活性化・仲間づくりを支援します。

- ・女性部活動など各種サークルにおいて、組合員からの意見収集を踏まえて多様な活動提案を行います。
- ・マイバッグ、マイ箸使用、エコキャップ回収運動などで、地域の中から地球環境の保全を考える活動を行います。
- ・習字教室などの各種教室を開くことにより、地域全体に仲間づくりや生きがいづくりの場を提供します。
- ・料理や手芸など伝統継承活動を行うことにより、世代間のつながりを深める活動を実践します。



料理教室



園芸サークル



祭寿司講習



Viveサークル ちまき作り

○健康管理活動

組合員や地域住民が健康で充実した日々を過ごせるよう、健康管理活動を展開します。

- ・健康教室や体操教室のほか、手軽な筋力トレーニング等を各種活動時に紹介するなどして、健康な体づくりへの提案を行います。
- ・疾病等の早期発見や早期治療に向けて、人間ドックの受診率向上に取り組みます。

分野	取り組み事項
運 動	健康づくり教室 筋力トレーニング・ストレッチ教室 健康体操
食 事	健康料理サークル 親子料理教室 男の料理教室 郷土料理教室
健康管理	健康診断・人間ドック受診促進
地域貢献	高齢者施設等への慰問活動 世代を超えた仲間づくり運動 食をキーワードとした出前授業



ケアハウス湯沢訪問



リンパ体操

J A 綱 領

— わたしたちJAのめざすもの —

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営・公正、連帯等）に基づき行動します。

そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立の民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追及しよう。

一人は万人のために

万人は一人のために